

野田物語

棋士・中村勇太郎④

書道や俳句など

趣味人としても

碁盤に向かい合って、最初の石を置いたときから、厳しい勝負が始まります。

しかし、戦いが終われば、ほっと一息、気分転換です。

中村勇太郎は、多趣味だったようで、魚釣りをはじめ、俳句、書道、カラオケなどを楽しみました。

書は、師範時代に全国にわたって段級免状の書を書かれるほどの腕前でした。

また、俳句は「たちばな句会」の会長を務めるなど、本格的なものでした。

「たちばな句会」の前身は、棋院棋士や観戦記者など俳句



安房小湊での吟行会(写真左が中村)／「棋道」昭和47年5月号から転載

また、吟行会も年に1、2回開催されていたようで、「棋道」を紐解くと、安房小湊(昭和47年3月)や上州上牧温泉(同53年夏)などで行われたこと

好きの囲碁関係者が集まって、戦前設立したようですが、昭和31年9月、「たちばな句会」として発足し、同60年前後まで続いたそうです。

昭和53年9月号の「棋道」

(日本棋院発行)によれば、会の名前は「橘中之楽」にちなんで命名したそうで、「橘中之楽」とは、大きな橘の実を割ると、その中に2人の老人が碁を楽しんでいた、という中国の故事にちなんでつけたそうです。

会には、前田陳爾九段、村島誼紀九段など、多くの会員が所属し、中村は昭和58年の春、同会の会長に就任します。

また、吟行会も年に1、2回開催されていたようで、「棋道」を紐解くと、安房小湊(昭和47年3月)や上州上牧温泉(同53年夏)などで行われたこと



中村九段揮毫の扇面(昭和56年)／個人蔵

とが紹介されています。

銚子市出身で同会会員の石毛嘉久夫八段(1925〜2003)の友人が、房総で民宿を経営されていたので、吟行会も房総が多かったそうです。

中村は、東紅の俳号(俳句を作るときの名前)で作品を発表しており、小湊では「外房の春一条の飛行雲」、上牧では「音涼し湯滝をかたに受けながら」と詠んでいます。

また、会長に就任された句会では「溢れきて立つ波がしら春惜しむ」、さらに、制作は不明ですが、清水公園で「仁王門本堂までの花吹雪」と作句しました。

※文中敬称略(4月1日号へつづく)

【取材協力】(財)日本棋院出版部、津々楽朋子さん

【参考資料】「棋道」、月刊「とも」

3月の休日当番医

休日当番医での診療時間

外科・産婦人科 = 9時～22時(ただし16時～19時は除く)

内科 = 9時～16時(19時～22時は急病センターで行います)

日(曜日)	外科	内科	産婦人科
1日(日)	キッコーマン総合病院(☎7123-5911)	豊泉医院(☎7129-3813)	杉崎クリニック(☎7125-1070)
8日(日)	梅郷整形外科クリニック(☎7125-2011)	石井医院(☎7122-2434)	川間太田産婦人科医院(☎7127-1135)
15日(日)	門倉医院(☎7124-5311)	鈴木医院(☎7124-5683)	小張総合病院(☎7124-6666)
20日(金)	山崎外科内科(☎7122-2359)	野田病院(☎7127-3200)	遠藤産婦人科医院(☎7124-7860)
22日(日)	西村クリニック(☎7123-0050)	花井クリニック(☎7123-3900)	杉崎クリニック(☎7125-1070)
29日(日)	しばやま整形外科(☎7120-5355)	たんぼぼこどもクリニック(☎7126-8118)	川間太田産婦人科医院(☎7127-1135)

※休日当番医は変更することもあります。受診の際にはテレホンガイド(☎7124-7272:コード6101)、または野田市ホームページ(<http://www.city.noda.chiba.jp/kurashi/04-01-01.html>)で確認してください。

急病センター

☎7125-1188

▼内科(小児科) = 19時～22時(毎日)

▼歯科診療 = 9時～12時(休日)

▼♪春は名のみの風の寒さや、と「早春賦」の一節を思い浮かべながら編集後記を書いていきます▼樺の木々はまだ葉を落とし、江戸川や利根川の流れもまだ寒々としています。しかし、どんなに冬が厳しくても、春は確実にやって来ます▼市では、不況が続く中、「野田市無料職業紹介所」、「障害者総合相談・就労支援センター」の開設をはじめ、「緊急雇用対策奨励金」や「若年者等トライアル雇用奨励金」の支給など、雇用の機会を創出するための独自の事業を行っています。ご活用ください(き)

編集後記

市の木



けやき

市の花



つつじ

市の鳥



ひばり